

活動報告

1)労働相談活動

目的

相談を通じて、

- ①労働者としての権利の自覚
- ②なぜそんな状況が生じているのかを一緒に考える(問題の発見)
- ③問題に対する解決を学ぶと共に、より構造的な原因の解決に向けての洞察、実践へ

*相談集計：別紙参照

内容についての考察

- 1、相変わらず塾の未払いについての相談は多い。(しかし、分単位の計算)
- 2、飲食・コンビニでは、自腹(食器・レジ誤差)についての相談がまだまだある。(高額なケースも)
- 3、しかし、未払い事案で、請求した場合、大抵は、返ってくる。
- 4、判断が難しいケースも・・・。

相談の反省

- 1、過程①で終わってしまう場合が多い。(メール返信後、連絡なし)
*要因と思われるもの：日時調整が難しい・労働法違反だと知れて納得した・他のところへも相談
*もう一度連絡を
- 2、「解決」後の職場の状況把握(辞める直前(または後))の相談が多い

今後の課題

- ①組合員の在り方(組合費・かんユニの組合員とは目的共有)
- ②継続性と参加の受け皿
- ③問題の掘り下げと展開

2)啓発活動(高校生・大学生にむけて労働法学習など)

目的

- ①バイトを始める前に、奨学金を借りる前に「おかしい」ということに気が付けるように。
- ②現在の学生をとりまくアルバイト・奨学金の状況を知ってもらう。
- ③労働組合や運動によって、おかしい状況を「変えられる」ということを知ってもらう。

講演・取材等依頼

2018年

2018/11/22 *富田林高校

2018/11/11 *今宮高校

2018/09/07 *全国生協連「教職員セミナー」・パネラーとして

2018/02/01 *富田林高校
2018/01/16 *佛教大学
2018/01/09 *出水教授(関西大学(高槻)ゲストスピーカーとして)

2017年

2017/12/13 *反貧困ネット(京都)
2017/11/16 *今宮高校
2017/10/20 *大内さん講演(関西大学・経済学部研究会主催)
2017/06/29 *住吉高校
2017/06/24 *関西私大教連
2017/06/24 *生活保護問題対策全国会議
2017/06/13 宇城教授(関西大学・ゲストスピーカーとして)
2017/05/28 大阪府立金剛高校放送部より取材(たかつガーデン)
2017/03/19 関西学生アルバイトユニオン 総会
2017/02/09 *富田林高校
2017/01/26 *園芸高校

講演内容

- ①ユニオン立ち上げの経緯・バイトアンケート
- ②労働法講座
- ③労働相談事例
- ④過労死
- ⑤奨学金

*参考「別紙②」

伝えたいテーマ：「耐える強さを変える力に」

アルバイトや奨学金の「しんどさ」は、自分だけでなく、周りの人も抱えているかもしれない。
ただ、一人で「おかしい」と声をあげるとはむずかしい… 誰々さんに迷惑が掛かるから……………
結果として、耐えてしまうことになる。

一緒に働く仲間と共に、

「何でそんなことになっているのか？」

「しんどい状況に置かれているのは何ですか？」

「どうやったら変えられるのか？」

を互いに話しあうことで、自分の問題の解決を通じて社会をより良いものへ！

今後の課題

- ①講演後のレスポンス、継続性(講演依頼待ちの姿勢から)
- ②講演内容についてのアップデート・問題提起

3)学習会・情宣等活動

目的

- ・ 広く「働くこと」について、学生同士が大学内で考える場所・きっかけを提供する(考える場所)
- ・ 具体的な活動(行動)に向けての個々のメンバーのレベルアップ(知識の獲得)

内容

- 1)自分のバイト(働き方)を一步引いて見れるようにする。自分たちで考える大学生になる。
- 2 現在の労働問題について、①何が起きているのか、②法的、制度的、社会的な知識、③歴史的な経緯について学び、問題点をより深く捉える。(社会の問題として考える)
- 3)「かんユニ」としての見解の表明、活動につなげる(バイトアンケート・労働相談事例・デモ、記者会見)

2018年

2018/04/26 バイトを始める前に知っておきたい労働法講座

内容:「労働法クイズ」「労働相談解決事例+かんユニ紹介」

参加者:6名

2018/05/20 私たちの「働く」を考える ディスカッション

内容:正規雇用と非正規雇用、長時間労働はなぜなくなるのか?

参加者6名

2018/09/16 私たちの「働く」をかんがえる連続学習会(阪大:働き方研究会と共同)

内容:なぜ私たちは働くのか?、私たち働かせ方はいかにして作られたのか

参加者:14名

2017年

2017/12/08 阪大「働き方研究会」共同 労働法学習会

2017/11/14 かんユニ説明会

2017/10/11 街頭インタビュー(関大駅前)

2017/06/28 労働法相談会(関大)

2017/06/25 街頭情宣(京橋・難波高島屋前 RtS OSAKA 主催)

2017/04/27 本当にあったバイトの怖い話(新入生・関大)

〈今までにあった活動〉

○2016年

- ・ エキタス京都のデモに参加(3月)
- ・ バイトで使える労働法(4月)

○2015年

- ・ バイトを始める前に知っておきたい労働法講座(4月)
- ・ 学生アルバイトアンケート(奨学金アンケート) 計500名
- ・ かんユニ紹介+歴史的経緯「どうしてこんなにブラックなんだ!」
- ・ 残業代ゼロ円法案に反対する記者会見
- ・ 戦争とブラックバイトに反対するデモ
- ・ もうひとつの奨学金説明会
- ・ 団体交渉とその結果を記者会見(ブラックバイトユニオンと共同で)

今後の課題

- ①継続性の担保
- ②他団体との共同
- ③広報
- ④自分たちから「外へ」訴えかけることの継続性(情宣・街宣・学内)

4)調査活動(アルバイトアンケート)

目的

①学生がおかれている状況を客観的に分析し把握する②分析結果から分かった問題点について、その改善に向けて、大学、社会に対し訴えかける有効な武器になる。

2018/11～12月 新バイトアンケート (回収数:約450枚)

3月以内には報告、4月～5月にアンケート分析会議を予定

今後の課題

- ①継続性の担保②分析の正当性③アンケートと署名

活動計画

柱となるもの

- 1、上記活動分類の結合とその発展
- 2、「外へ」に向けた問題提起
- 3、活動・広報の継続性、計画化

学習会と学内街宣と機関紙と労働相談、これをしっかりとつなげていく

1)労働相談

- ・相談の受け方・あり方
- ・「かんユニ」組合員の組合員性の制定
- ・問題の掘り下げ
- ・問題解決後の関わり(機関紙への寄稿依頼)
- ・その他活動への呼びかけ(参加できなくても)

2)講演活動

- ①一度依頼を受けた担当の先生には継続的に活動報告を送る。(つながりの強化)
- ②内容についても、担当の先生と一緒にアップデートを行う。
- ③単なる解説に終わらずに、訴えたい・伝えたいことを明確に
- ④報告をちゃんとする。

3)学習会

- ①ありふれているが故につかみにくい、労働問題について、単発で学んでいっても、中々体系化されない・・・
年間のカリキュラムを作成して、現状に対して何が問題なのか、知るだけでなく、意見を言って、取り組むために、一つずつおさえていく。

新聞記事や報道をただ紹介するだけでなく、読み解き、意見を言える力をつける！

②実施した学習会の報告と学習会をやって「何が知れたのか」「どう使うのか」を明確にする。

街宣で呼びかける内容について、役にたつものを！

③他団体との交流や組合員への参加呼びかけ

学習計画 年間(案)

＊毎月1回実施

＊時間・形態は学習会ごとに協議

4月～5月、ブラックバイト、ブラック企業とは何か？～バイトアンケートの分析を通じて～

バイトアンケート(2018/11～12 実施)

『ブラックバイト』(岩波新書) 今野晴貴

『ブラックバイト～体育会系経済が日本を滅ぼす』(堀之内出版) 今野晴貴・大内裕和

『ブラック企業～日本を食いつぶす妖怪』(文春新書) 今野晴貴

『ブラック企業2～「虐待型管理」の真相』(文春新書) 今野晴貴

5月、「大卒就職」の現状とは？

『歴史の中の大卒労働市場』(勁草書房) 福井康貴

『大卒就職の社会学』(東京大学出版) 荻谷剛彦・本田由紀

『危機のなかの若者たち』(東京大学出版) 乾彰夫・本田由紀・中村高康編

6月、過労死はなぜなくなるのか。

『強欲資本主義の時代とその終焉』(桜井書店) 森岡孝二

『働きすぎの時代』(岩波新書) 森岡孝二

『過労死は何を告発しているのか』(岩波現代文庫) 森岡孝二

『働きすぎに斃れて』(岩波書店) 熊沢誠

7月、雇用政策(労働市場)の歴史

『新しい労働社会』(岩波新書) 濱口佳一郎

『日本の雇用と中高年』(筑摩新書) 濱口佳一郎

『若者と労働』(中公新書ラクレ) 濱口佳一郎

『日本の労働法政策』(労働政策研究・研修機構) 濱口佳一郎

8月、貧困問題について

『入門 貧困論 ささえあう／たすけあう社会をつくるために』(明石書店) 金子充

『貧困の戦後史 貧困のかたちはどう変わったのか』(筑摩選書) 岩田正美

『人間らしく生きる権利を求めて』(生活保護問題対策全国会議)

『貧困世代-社会の監獄に閉じ込められた若者たち』(講談社現代新書) 藤田孝典

9月、資本主義とは？

『なぜ富と貧困は広がるのか』(旬報社) 後藤道夫・木下武男

『私たちはなぜ働くのか』(旬報社) 佐々木隆治

『共産党宣言』（岩波文庫）マルクス・エンゲルス

○教育の「能力主義」（メリトクラシー）について

『多元化する「能力」と日本社会～ハイパーメリトクラシー化の中で』（NTT 出版）本田由紀

『日本のメリトクラシー 構造と心性』（東京大学出版）竹内洋

『自己啓発の時代「自己」の文化社会学的探究』（勁草書房）牧野智和

『日常に侵入する自己啓発 生き方・手帳術・片付け』（勁草書房）牧野智和

○企業における「能力主義」

『能力主義と企業社会』（岩波新書）熊沢誠

『女性労働と企業社会』（岩波新書）熊沢誠

『リストラとワークシェアリング』熊沢誠

『人手不足なのになぜ賃金は上がらないのか』（慶応義塾大学出版会）玄田有史編

○階級（格差）社会について

『「格差」の戦後史 階級社会日本の履歴書』（河出ブックス）橋本健二

『新・日本の階級社会』（講談社新書）橋本健二

『格差社会ニッポンで働くということ』（岩波書店）熊沢誠

『雇用身分社会』（岩波新書）森岡孝二

○女性労働

『家父長制と資本制』（岩波現代文庫）上野千鶴子

『管理される心—感情が商品になるとき』（世界思想社）A.R ホックシールド

『働く女子の運命』（文春新書）濱口佳一郎

『女性労働と企業社会』（岩波新書）熊沢誠

○現代日本経済の概観

『経済の時代の終焉』（岩波書店）井出英策

『日本経済の構造転換』（岩波書店）須藤時仁・野村容康

『終わりなき危機 君はグローバリゼーションの真実を見たか』（日本経済新聞出版会）水野和夫

『資本主義の終焉と歴史の危機』（集英社新書）水野和夫

『資本主義の成熟と転換—現代の信用と恐慌』（桜井書店）小西一雄

4)調査活動

- ①アンケート分析には、クラス入りをお願いした先生にも参加してもらう。
- ②分析結果を、総会、機関紙、HP で公開する。
- ③結果から今後の活動へつなげる。

5)その他

- ①機関紙の発行(年4回) A5サイズ・12ページ
4月発行予定

機関紙目次

1p 表紙

2p—4p 特集：始める前に気を付けたい！労働法

偽求人：(最低賃金・罰金・休憩・サービス残業)

5p-6p 労働相談ファイル

7p-8p コラム：バイトを始めて見たけれど

①バイトを始める前のイメージ②アルバイトを始めて(働き方の実態)

③疑問や不満に感じる事(かんユニで知ったことなどを踏まえて)④まとめ(新入生に伝えたい事)

9p コラム：就職活動を終えて(考えたこと、伝えたい事)

10p-11p バイトアンケート報告

12p 活動報告(学習会・講演会・総会)

13p 告知(学習会)

14p 裏表紙：労働相談・メンバー募集

②街宣(年〇回)土曜日(学習会の前の時間に?セットで)

③HP の内容の充実